NETWORK SYSTEM

Patent Number:

JP4160950

Publication date:

1992-06-04

Inventor(s):

INADA TATSU

Applicant(s)::

FUJI XEROX CO LTD

Requested Patent: JP4160950

Application Number: JP19900288051 19901025

Priority Number(s):

IPC Classification:

H04L12/54; G06F13/00; H04L12/58

EC Classification:

Equivalents:

JP2959098B2

Abstract

PURPOSE:To send and receive an electronic mail efficiently regardless load of mail server at a destination when sending the mail by selecting a mail server with least load based on load information to send.

CONSTITUTION: When sending an electronic mail, the CPU10 at work station 12 checks whether or not the address of a mail server is cached, and if 8 hours pass after broadcasted and if the address of the mail server is not cached, broadcasting is executed for updating load information to newly obtain load information of mail server. Further, collected load information items are rearranged in an ascending order of load, and the electronic mail is sent to a mail server that was cached first.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

19日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

平4-160950 ⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

®int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成 4 年(1992) 6 月 4 日

H 04 L 12/54 G 06 F 13/00 H 04 L 12/58

357 Z

7368-5B

1 0 1

7830-5K H 04 L 11/20

R 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

60発明の名称

ネットワークシステム

20特 頭 平2-288051

22出 願 平2(1990)10月25日

@発 明 者 稲 \blacksquare 神奈川県川崎市高津区坂戸100番1号 KSP R&Dピ

ジネスパークビル 富士ゼロックス株式会社内

富士ゼロツクス株式会 勿出 願 人

東京都港区赤坂3丁目3番5号

四代 理 人 弁理士 木村 高久

朋

1. 発明の名称

ネットワークシステム

2. 特許請求の範囲

ネットワーク上に複数のデータ処理装置を接続 すると共に、前記ネットワーク内における電子メ - ルの送受信を制御するメールサーバを設けたネ ットワークシステムにおいて、

前記メールサーバの負荷情報を保持する記憶手 段を設け、電子メールを送信する際に負荷情報の 有効期限を判定し、所定時間が経過しているとき は前記負荷情報を更新すると共に、前記負荷情報 に基づいて最も負荷の軽いメールサーバを選択し、 当故メールサーバに対して電子メールを送信する ようにしたことを特徴とするネットワークシステ L .

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、ワークステーションなどのデータ 処理装置で作成された文書やデータを、ネットワ - クを介して他のデータ処理装置に送受するネッ トワークシステムに関する。

〔従来の技術〕

従来より、ワークステーションなどのデータ処 理装置をネットワーク上に分散配置した分散処理 形態のネットワークシステムが知られている。こ のようなネットワークシステムにおいて、ワーク ステーションから発信された電子メールは、メー ルサーバに一旦響えられ、このメールサーバから パケットに記述された宛て先のメールサーバにメ ールが転送される。従来のネットワークシステム では、特定個人が送信した電子メールを受信する メールサーバ(通常は、最も近くのメールサーバ) があらかじめ決められており、ユーザーはそれ以 外のメールサーバにメールを送ることはできなか った。

(発明が解決しようとする課題)

したがって、従来のネットワークシステムでは、送信先のメールサーバが稼動していない、ときは、メールを全く送ることができないうえ、送信でのメールサーバの負荷が高いときには、送信できたとしても処理が遅くなるという問題点があった。また、特定のメールサーバの全体的な利用効率が悪くなるという問題点もあった。

この発明は、電子メールの送受信を効率よく行うことができるようにしたネットワークシステムを提供することを目的とする。

(課題を解決するための手段)

テムの一実施例を示す概略構成図である。このネットワークシステムは、LAN (ローカルエリアネットワーク) 11に接続されたワークステーション12から横ておれたワークステーション12から格でしたがあるメールの送受信を可能にしている。メールのバイントを受信し、自分の負荷を例えばXNS Hailing Protocol (XNSS)148805)に記述されている形式のパケットとして応答する。

て最も負荷の軽いと思われるメールサーバを選択し、当該メールサーバに対して負荷の問い合わせを行い、そのメールサーバの負荷が一定値以下であったときに電子メールを送信するようにしている。

(作用)

上記構成によれば、電子メールを送信する原に保持されている各メールサーバの負債を担けられる。したかって、近くのメールサーバの負荷が高い場合でも、負ので、電子メールの送母を効率よく行うことができる。とがないので、メールサーバの全体的な利用効率を向上させることができる。

(実施例)

以下、この発明に係わるネットワークシステム の一実施例を説明する。

第2図は、この発明に係わるネットワークシス

カするキーボード/マウス制御部5と、ディスク 装置6、ディスク装置制御部7、主メモリ8、キャッシュメモリ9、CPU(中央処理装置)10

ディスク装置6は、文書ファイルや各種のプログラムなどが格納された記憶装置であり、データの入出力はディスク装置制御部7により制御されている。

主メモリ8はRAMからなり、ワークステーションとしての運用を行うオペレーティングプログラムや、キーボード3及びマウス4から入力された命令やデータなどが格納される。

キャッシュメモリ9は、メールサーバの名前、アドレス及び負荷情報が保持される記憶手段であり、プロードキャストによって得られた負荷情報は負荷の軽い順に並びかえられ、先頭から順に取り出される。

CPU (中央処理装置) 1 0 は、ワークステーション全体の制御を行うと共に、各種の命令に基っていて所定のデータに対する演算処理を行う回路

であり、キーボード 3 やマウス 4 からの指示に接続するプログラムをディスク 装置 6 から読み込んで、入力されたデータに対する演算処理を実行する。

なお、あまり長い時間にわたりキャッシュメモリの情報をあてにすると、メール送信時のメールサーバの負荷状態と不整合が生じるので、この実施例では、8時間を経過している場合に負荷情報

の更新を行うようにしている。

次に、上述した第1図及び第2図のネットワークシステムにおいて、電子メールを送信する際に 負荷の軽いメールサーバを選択する場合の処理手 顔を第4図のフローチャートに基づいて説明する。

また、ステップ102においてプロードキャス

トから8時間が経過していないときは、キャッシ ュメモリ9の負荷情報を参照し、一番目にキャッ シュされているメールサーバに対して負荷を問い 合わせる(ステップ106)。そして、問い合わ せに対する応答を調べ、負荷が一定値以下かどう かを判断する(ステップ107)。ここで、負荷 が一定値以下であるときは、その (一番目の) メ - ルサーバに電子メールを送信し(ステップ10 5)、負荷が一定値以下でないときは、調べたメ ールサーバをキャッシュメモリ9から消す(ステ ップ108)。そして、二番目のメールサーバを 一番目とし(ステップ109)、メールサーバの 情報がまだ有るかどうかを判断する(ステップ) 10)。ここで、メールサーバの情報が有るとき はステップ106に戻り、メールサーバの情報が 無いときはステップ103に進んでプロードキャ ストを行い、メールサーバの負荷情報を得る。

このように、メールサーバの負荷情報に関する キャッシュメモリを設け、メールを送信する際に は、このキャッシュメモリに保持された負荷情報 を参照し、最も負荷の軽いメールサーバから順に メールを送るようにすれば、近くのメールサーバ の負にすれば、近くのメールサーバ の負にメールを送信することができる。また、ブロードキャストは所定時間が経過したときに行う ようにしているため、電子メールを送信するたび にブロードキャストを行う場合に比べて、ブロー ドキャストの回数を減らすことができ、ネットワークの負担を最少限にすることが可能となる。

上述した実施例では、ワークステーションとメールサーバが同じネットワーク上にある場合について述べたが、第3図に示すようにワークステーション24が接続されているLAN21にメールサーバがない場合は、ルータ25、26を経由してLAN22とLAN23にプロードキャストパケットを送信すれば、メールサーバ27~29からの応答を得ることができ、これによって最も負荷の軽いメールサーバを選択することが可能とな

また、上述した実施例では、メールを送信する

特開平4-160950(4)

版に負荷情報の有効期限を料定し、所定時間が経過しているときは負荷情報を更新するようにしているが、メール送信の如何にかかわらず、一定時間を経過したときには自動的に負荷情報の更新を行うようにしてもよい。

(発明の効果)

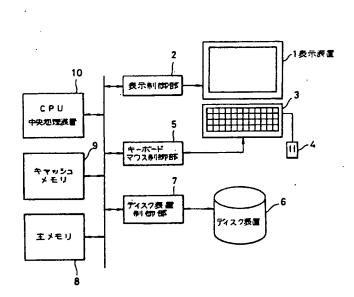
4. 図面の簡単な説明

第1 図はワークステーションの基本的な構成を示すブロック図、第2 図及び第3 図はこの発明に 低わるネットワークシステムの一実施例を示す機 略構成図、第4 図は電子メールを送信する際に負 荷の軽いメールサーバを選択する場合の処理手類 を示すフローチャートである。

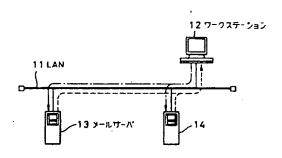
1 … 表示装置、 3 … キーボード、 4 … マウス、6 … ディスク装置、 8 … 主メモリ、 9 … キャッシュメモリ、 1 0 … C P U (中央処理装置)、 1 1、2 1 ~ 2 3 … L A N、 1 2、 2 4 … ワークステーション、 1 3、 1 4、 2 7~ 2 9 … メールサーバ、2 5、 2 6 … ルータ。

出願人代理人 木 村 髙

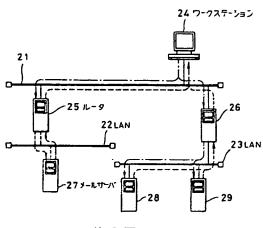




第1図



第2図



第3図

